

第2次小牧市図書館サービス計画に基づく単年度事業計画
令和7年度事業計画

重点取組項目①

子どもの読書活動を推進する取組

└全年齢に対するサービス

└子どもの発達段階に合わせた資料の収集を行います。

1 課題

子ども向け郷土資料の出版数が少なく、十分に収集できていない。

2 課題を解決するための取組

(1) より積極的に子ども向け郷土資料を収集するため、選書の幅を広げる。

(2) 子ども向け郷土資料を充実させる一環として「(仮称)こまきふるさとカルタ」を作成する。また、作成したカルタのデータをホームページに掲載する。

3 個別指標

(1) 選書の幅を広げる

評価時期	達成状態
9月末	県内図書館における郷土資料の収集状況を調査した上で、当館が取りこぼしている資料や、新たな選書のアイデアについての分析が完了している。
11月末	得られた情報が内部研修にて職員間で共有され、子ども向け郷土資料の選書に活かされている。

(2) ふるさとカルタの作成

評価時期	達成状態
6月末	「(仮称)こまきふるさとカルタ」のデータが完成している。 カルタのデータが図書館ホームページに掲載されている。
9月末	「(仮称)こまきふるさとカルタ」を紹介するイベントが完了している。

4 指標達成後の展望

(1) 継続して子ども向け郷土資料を広く収集することは当然として、限られた蔵書数であってもその「見せ方」を工夫することで、子どもたちが郷土に触れるきっかけを提供していく。

(2) 「(仮称)こまきふるさとカルタ」を学校図書館、保育園、児童クラブ等へ周知するほか、出前講座を通じて地域にもPRする。また、小学生の図書館見学に際して活用していく。

第2次小牧市図書館サービス計画に基づく単年度事業計画
令和7年度事業計画

重点取組項目②

市民が取組む生涯学習を支援する取組

└障がい者の学びと社会参画の促進

└読書バリアフリー資料及びサービスの充実を図るとともに、障がいのある方も参加できるイベントを開催することで、すべての方の学びを支援します。

1 課題

当館が行う読書バリアフリーサービスが十分に周知できていない。

2 課題を解決するための取組

(1) 障がい当事者だけでなく、すべての利用者に対して広く読書バリアフリーサービスの周知につながるイベントを開催する。

(2) 障がい当事者の図書館利用を促すイベントを開催し、サービスの周知を図る。

3 個別指標

(1)バリアフリーサービスの周知イベント

評価時期	達成状態
9月末	読書バリアフリーサービスを広くPRするイベントが1件完了している。

(2)障がい当事者の図書館利用を促すイベントでのサービス周知

評価時期	達成状態
9月末	障がい者の図書館利用を促すイベントが2件完了している。
2月末	障がい者の図書館利用を促すイベントがさらに2件(計4件)完了している。

※上記「イベント」には自主事業のほか、誘致したものを含む。

4 指標達成後の展望

(1,2) 継続して読書バリアフリーサービスのPRに努める。障がい当事者への周知はもちろん、サービスが広く一般に認知することで家族や支援者からもサービス利用の勧奨が進むことを目指す。